

1. 学力向上推進計画

1. 大度分校教育目標からめざす児童生徒像

自分の持っているすべての技能を活用し、課題解決に向けて進んで学習に取り組むことができる児童生徒。

2. 学力向上推進計画の目標

児童・生徒一人一人の特性に応じた生きる力（情緒の安定、学力の向上、生活習慣）を育む。

3. 令和3年度の成果と課題

○実践テーマ：「学習意欲の向上と情緒の安定をめざして」

<成果>

- (1) 小中合同の授業研修会等で個に応じた学習指導と指導法の工夫改善の研究が児童生徒の学習意欲の向上につながった。
- (2) 各種検定へ挑戦する児童生徒もでてきた。
- (3) 安全安心な環境づくりによる情緒の安定と出席状況の改善が見られた。
(不登校0)
- (4) 学習規律も定着している。

<課題>

- (1) 未学習事項への対応の工夫（個別の支援）
- (2) 愛着基盤の不安定さが強い児童生徒へのより効果的な指導体制の工夫
- (3) 米須小や三和中、前籍校との計画的な連携

4. 基本方針

個に応じた計画的で一貫性のある指導を心がけ、基礎的・基本的な学習を定着させ、自信を持たせるための指導の工夫改善を図る。

※通常学級・情緒学級における各教科の学習内容については、基本的には米須小や三和中の年間指導計画に則って行い、義務教育終了後の進路について十分配慮し、確かな学力を身に付けるためのあらゆる方策を行う。

5. 重点目標

- (1) 「自ら学ぶ意欲」を引き出し、高めるような主体的取り組みの展開を図る。
(学習意欲の向上)
- (2) 情緒の安定を図り、不安感や学習に対する拒否感の解消を図る取り組みを行う。
(情緒の安定)

6. 重点目標に対する具体的な取り組み内容

(1) 学習意欲の向上

<小学校>

- ① 学習規律の定着を図る

- ・「大度分校の学習のきまり」を学期初めに全体で確認し、教室掲示。日々の声掛け。
- ・トークン表などでの励まし・称賛。
- ・学習用具等の準備をノアーズガーデンへの協力依頼。（生活委員会が点検）

② 問いが生まれる授業の実践

- ・児童が授業の見通しを持ちやすいように「授業の流れ」を提示する。
- ・めあて：児童の「つぶやき」や「問い」をもとに設定する。（青色鉛筆で囲む）
- ・まとめ：板書の内容や児童の言葉を生かす。めあてと正対させる。（赤色鉛筆で囲む）
- ・振り返り：視点を与え、学びの過程を振り返り、新たな「問い」を見いだす。

③ 授業の形態の工夫

- ・本校は複式学級のため、児童の実態を考慮し、落ち着いて学習できるように授業の形態を工夫する。（学年ごとに分ける、専科制を導入、複式合同で行うなど）

④ 「宿題の仕方」について共通理解・共通実践

・宿題の内容

【基本形】平日：がんばりノート1ページ、日記、音読、プリント1枚

週末：上記+プリントや算数や国語の問題集など

※児童の実態に応じて、無理のないように出す。

- ・宅習ノート（がんばりノート）のコンテスト（学習委員会が実施）

学期に1回、宅習ノート（がんばりノート）のコンテストを行い、好ましい家庭学習の習慣を身につける。

⑤ テストの実施・振り返り

- ・「テストのきまり」を統一し、共通実践する。
- ・テスト返却後は、間違いを直してファイルにつづる。
- ・ノアーズの職員にサインをもらう。
- ・ファイルは学校で保管する。
- ・個人面談等に活用する。

⑥ 読書活動の推進

- ・読書時間の設定（朝の読書、先生による読み聞かせ）
- ・図書コーナーの活用
- ・「くろしお号」（糸満市の移動図書館）の活用（隔週木曜日6校時の前の休み時間）
- ・読み聞かせボランティアの活用（毎月第2木曜日）

< 中学校 >

① 生徒理解と生徒の特性に応じた授業

- ・年度途中で転入した生徒の学力を把握するために、前籍校との連携や状況に応じて学力調査（テスト）等を行い、個別の対応が必要か否かを判断する。
- ・各教科の学習内容については、基本的には本校の年間指導計画に則って行うが、生徒の学習状況や理解力に応じて、前学年の学習内容や未学習の部分を行うこともある。
- ・生徒の学力によっては、個別の支援体制を検討する場合もある。

② 「家庭学習の仕方」について共通理解・共通実践

- ・基本は「家庭学習帳」を活用した家庭学習とする。
- ・各教科から課題が出た場合は、その課題を優先して行う。
- ・家庭学習帳の活用が難しい生徒は、担任、教科担当と相談して課題を与えても良い。
- ・学習時間は、30分以上とする。

- ・登校後、家庭学習帳（または、家庭学習で取り組んだ課題）と家庭学習確認表を提出し、学習委員がチェックする。
- ※施設側との調整で変更する場合もある。
- ※生徒の状況によっては、あえて家庭学習を行わず、情緒の安定を優先する場合もある。

③定期テストに向けての計画・実施・振り返り

- ・各教科のテスト範囲を取りまとめ、生徒へ配布を行う。
- ※テスト前に、学級長が担任からテスト範囲記入用紙をもらい各教科担当にテスト範囲を確認し、とりまとめる。
- ・定期テストに向けての勉強計画表を利用し、計画的に勉強に取り組ませる。
- ※テスト前の学活を利用して個々の計画表を作成させる。
- ・定期テストの結果をシートに記入させ、振り返りを行う。
- ※記入項目：各教科の点数、合計点数、テスト勉強の取り組みについての振り返りを行う。

④補習についての取り組み

- ・補習を受けたい生徒は、前日までに教科担当、学級担任と時間を調整し、ノアーズ職員に許可をもらう。
- ※上記の内容を補習学習確認表に記入し、担任のサインをもらう。
- ※各種検定の補習においても、上記と同様な手順で行う。（児童生徒と個人的なやりとりはしない）
- ・中学3年生については、必要に応じて3学期から高校入試に向けて週1回程度補習を行う。

⑤各種調査やテストに向けての取り組み・計画（沖縄県「学びのたしかめ」はWeb参照）

各種調査・テスト	
1 学期	4月…標準学力知能検査（中1）・全国学力・学習状況調査（中3） 5月…アイチェック（全学年） 6月…プレ入試（中3）・学校質問紙調査6月末実施
2 学期	9月…プレ入試（中3） 10月…糸満市学力調査（中3） 11月…プレ入試（中3）・学校質問紙調査11月末実施
3 学期	1月…県学力到達度英語スピーキング力調査（中1・中2） 2月…県到達度調査（中1・中2）

⑥朝の活動についての取り組み（中学校）

- ・朝の活動では基本的に読書を行うが、検定や定期テスト前は、自主学習を行う。

（2）情緒の安定

<小・中学校>

- ①施設（ノアーズガーデン）との連携（児童生徒の情報共有）
- ②SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の充実（毎学期合同学活でSSTの授業を実施）
- ③称賛の場の設定（朝会での表彰や生徒作品の掲示）
- ④クールダウンの効果的な活用
- ⑤転入生へのスタートカリキュラムの実施（最初の登校日と翌日の2日間に行うプログラム）
- ⑥環境整備の充実
- ⑦体験的学習の充実

7. 小中学力向上年間サイクルの実施

月	月間及び取組	取組内容	学力向上推進室・島尻教育事務所の主な取り組み
(令和3年度) 1月	〈学力向上月間〉 1～3月 ・総合テスト(中3)	<input type="checkbox"/> 冬休みの宿題点検 <input type="checkbox"/> テスト実施 <input type="checkbox"/> テストの振り返り	* 地区学力向上強化月間(1～3月) * 学力向上推進実践事例報告書(1月) * 県到達度調査(2月)
2月	・学年末・模擬テスト(中学生) 〈県到達度調査〉	<input type="checkbox"/> テスト実施 <input type="checkbox"/> テストの振り返り <input type="checkbox"/> 採点・入力・結果の分析	
3月	〈年度のまとめ〉		
春季休業	〈春休み期間中〉	<input type="checkbox"/> 春休みの課題 <input type="checkbox"/> 2月実施の県到達度調査の分析、次年度準備 <input type="checkbox"/> 1年間の取り組み準備	
(R4) 4月	〈学力向上月間〉 〈標準学力知能検査〉 小3・中1 〈アイチェック〉全学年 〈全国学力学習状況調査〉小6・中3	<input type="checkbox"/> 家庭学習の取り組み方についての確認 <input type="checkbox"/> 春休みの宿題点検・既習事項の定着を確認する <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 全国学テ実施・採点・入力	* 地区学力向上強化月間(4月)
5月	・1学期中間テスト(中学生)	<input type="checkbox"/> テストに向けた勉強計画作成 <input type="checkbox"/> テスト実施 <input type="checkbox"/> テストの振り返り	* 学びのたしかめ ◆(6月)
6月	・1学期期末テスト(中学生)	<input type="checkbox"/> テストに向けた勉強計画作成 <input type="checkbox"/> テスト実施 <input type="checkbox"/> テストの振り返り	
	・プレ入試(中3)	<input type="checkbox"/> 実施・採点	
	〈学びのたしかめ〉	<input type="checkbox"/> 実施・採点・入力	
7月		<input type="checkbox"/> 夏休みの宿題の一覧作成・配布	

夏休み	〈夏休み期間中〉	□夏休みの課題	
9月	・プレ入試(中3)	□実施・採点	*地区学力向上強化月間(9月)
10月	・2学期中間テスト(中学生)	□テストに向けた勉強計画作成 □テスト実施 □テストの振り返り	
	〈糸満市学力調査(中3)〉	□実施・採点・入力	*市内学力調査(中3)
11月	・2学期期末テスト(中学生)	□テストに向けた勉強計画作成 □テスト実施 □テストの振り返り	
	〈学びのたしかめ〉	□実施・採点・入力	*学びのたしかめ◆(11月)
	・プレ入試(中3)	□実施・採点	
12月		□冬休みの宿題の一覧作成・配布	
冬休み	〈冬休み期間中〉	□冬休みの課題	
(R5) 1月	次年度の「学力向上年間サイクル」スタート		

※春休みの宿題

小学校6年生(新中学1年生)においては、中学部の主要5教科の教科担任が春休み中の宿題を準備する。ただし、内容については、6年担任と事前調整を行うこと。